みどころいっぱい

豊岡盆地・日和山コース

ドライブコース

1 豊岡街並みとカバンストリート

1925年に発生した北但大震災で、焼失した豊岡の街並みを復興した近代化建築群が、90年も経過した現在も見られます。豊岡鞄の店が並ぶカバンストリートにはカバンアルチザンも建設され、鞄職人の巧みな技を見ることができます。

2 お菓子の神様をまつる中嶋神社

お菓子の神様と呼ばれている田道間守命を祀っています。その昔、田道間守命が垂仁天皇の命を受け、常世の国（海の彼方、中国大陸の方面にあったとも言われている異世界）から不老長寿の妙薬（橘の実:みかんの先祖）を持ち帰ったのが、お菓子のルーツになったといわれています。

3 兵庫県立コウノトリの郷公園 豊岡市立コウノトリ文化館

コウノトリを野生に帰すための拠点として、種の保存と野生化に向けたさまざまな研究と試みを行っています。飼育コウノトリの公開やコウノトリの解説等も行っています。

TEL:0796-23-5666
（兵庫県立コウノトリの郷公園）

TEL:0796-23-7750
（豊岡市立コウノトリ文化館）

4 玄武洞公園

約160万年前に起こった火山活動で、流れ出したマグマが冷え固まる際に、規則正しい割れ目を作り出し柱状節理が形成されました。その地質的な価値と自然が作り出した節理の美しさや、学術的な重要さを知ることができます。

5 ハチゴロウの戸島湿地

円山川下流域にある湿地の一つで2002年8月5日に1羽の野生のコウノトリが飛来したことにちなんで「ハチゴロウの戸島湿地」と命名されました。淡水・汽水が混在し、希少な生き物や植物があふれるところです。ここは周辺も合わせて2012年にラムサール条約登録湿地になりました。

6 楽々浦と鼻かけ地蔵

リアス海岸の入り江「楽々浦湾」は1年を通じて静かで優美な湾景を誇ります。かつては川漁が盛んで岸辺には舟屋が残っています。畔にある「鼻かけ地蔵」は日本昔話にも出てくるお地蔵様です。欲張りをせず「1つだけ」なら願い事を叶えてくれると言われています。

7 城崎温泉

円山川河口の水郷地帯、かつては入り江であった大谿川河口を埋めた土砂の上に発達した温泉町です。「七つの外湯巡り」ができることで有名で、外湯にはそれぞれの由来があります。浴衣を着ながら柳並木の川沿いを歩いて、温泉まちの風情を楽しみましょう。

8 絹巻神社と柱状節理

円山川河口に突出た絹巻山のふもとにある神社です。境内の入口には柱状の割れ目模様（柱状節理）がある火山岩があり、絹織反物を積み上げたように見えます。周辺の森は「絹巻神社の暖地性原生林」として県指定文化財になっています。

9 ゾウ岩

形が象に似ているのでゾウ岩と呼ばれています。これは波打ち際で、波などの力で岩が削られ凹んだ地形「ノッチ」が、その後、海面の低下により海岸から離れ、取り残されたものです。縄文時代頃は今より5mくらい海面が高く、その頃波で削られたと考えられます。

10 田結の震災記念碑と田結湿地

1925年北但馬地震の際、田結地区では住民が率先して消火活動にあたったため、人的被害が抑えられました。地区の中心には震災記念碑があり、今も震災を忘れぬ取組がなされています。住民らの手で水田を湿地として整備した田結湿地はコウノトリの良い餌場となっています。

11 津居山港フィッシャーマンズ・ビレッジ

日本海に面する豊岡最大の港です。イカや松葉ガニ（ズワイガニ）、鯛、カレイ、ハタハタ、サザエなど、1年を通して豊富な水揚げがあります。フィッシャーマンズ・ビレッジでは、それら新鮮な魚介類を購入することができます。

12 日和山海岸 城崎マリンワールド

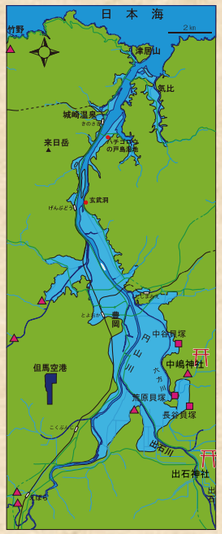
水族館などがある、日本海に面した美しい岩石海岸です。日和山海岸ガイドセンターからは、四季を通じて美しい風景を楽しむことができます。周辺の岩は日本海ができ始めるころの火山活動でできた流紋岩（火山岩の一種）や凝灰岩（火山灰が固まった岩）などでできています。

ジオコラム1 昔海だった豊岡盆地

縄文時代、豊岡盆地は大きな入り江だったことがわかっています。

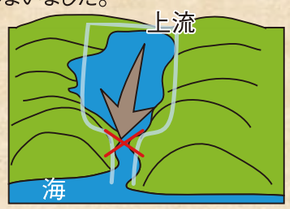
入り江の奥に位置していた出石には、渡来人とされている天日槍(あめのひぼこ)命を祀る出石神社があります。お菓子の神社として知られる中嶋神社には、中国大陸方面にあったとも言われている常世の国との交易の伝説があります。

日本海沿岸は、大陸との交易の拠点であり、竹野や円山川流域にもその名残があります。



縄文時代の海

その後、湾口が狭かった入り江は土砂がたまり埋め立てられてしまいました。



ボトルネック状の地形で土砂が排出されない!

土砂がたまってできた豊岡盆地は柔らかく、1925年北但馬地震（北但大震災）では大きな被害が出ました。その後、地震に強い街づくりが行われ、その時建てられた復興建築群が現在の風情のある街並みを作っています。

豊岡稽古堂（旧豊岡町役場）

ジオコラム2 玄武岩のある街並み

玄武岩の石積みと階段（立野）

豊岡の家や蔵の基礎石、石垣には、かつて玄武洞で採れた玄武岩がよく使われています。

海面と地面の高さがほとんど同じ豊岡は洪水が多く、床の高さを高くする必要がありました。

そこで、頑丈で重い玄武岩を利用しました。

これは、近くに玄武洞がある豊岡ならではの光景です。

庄境

※豊岡市内の随所に、平成16年台風第23号により浸水した高さを示す柱が立てられています。探してみましょう。

クイズの答え

①答え：縄文時代は今より5mくらい海面が高い位置にありました。そのときここは波打ち際で、波の力で岩が削られ、ゾウのような形になりました。

②答え：平成16年に発生した洪水でどこまで水につかったかを示す標柱です。詳しくはジオコラム2をみてください。

豊岡観光協会
tel.0796-22-8111

豊岡市 環境経済部 大交流課
tel.0796-21-9016

［制作］山陰海岸ジオパーク推進協議会・
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所
ジオ環境研究部門